

令和4年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 生命の星・地球博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検			第三者評価
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向	評価のコメント及び今後の方向性等の提言
利用状況	満利用者	88%	来館者のニーズを把握し、魅力ある施設づくりに務める。	97.1%	○	令和4年度は通常の満足度調査に加え、ミュージアムフェスタ期間にも記入式および電子申請によるアンケートを実施した。来館者の意見やニーズを汲み取り、さらに魅力ある施設づくりにつとめる。	
	入館者	182,899人	より効果的な広報を、さらに実施し、促進をはかる。	224,862人	○	広報の効果測定、新しいツールを利用した広報を実施し、さらに利用促進をはかる。	
	教育・普及事業への参加者	10,031人	魅力ある行事づくりを進める。	2,910人	△	講座の開催時季や参加者の世代構成などを精査し、魅力ある行事づくりをさらに進める。	
	トイアクトゥネット	465,796件	利用者視点に立った情報提供や記事の増やし、魅力をさらに増す。	622,485件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時に沿った記事をさらに増やすことにより、ウェブサイトの魅力を向上させ、アクセス数のさらなる増加を促す。	
資料・収蔵品	活用	館外貸出(研究)19,953(以外)1,479点	外部研究者との連携をさらに密に、資料の活用を活性化させる。	(研究)588,402(以外)1,248点 ※AI学習のデータ利用のため増加	○ △	外部研究者との連携をさらに深めると同時に、資料のさらなる蓄積、信頼のおける資料収集と資料に関する情報の発信につとめ、資料利用をさらに活性化させる。	
	維持管理	棄損無し	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の劣化を防ぐ。	棄損無し	○	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。また、紫外線や振動による劣化を予防する。	
調査研究	研究成果の公表・印刷物等	学術著作94 普及著作74 件	外部研究者との連携をさらに密に進展をはかる。外部資金の獲得に積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	学術著作76 普及著作44 件	△ ×	引き続き外部研究者との連携を進め、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	

情報発信	の事業情報	675件	利用者視点から見た記事の増加について、ウェブサイトの魅力を向上させる。令和4年度の件数は例年並み。	580件	△	引き続き利用者の視点に立った情報の提供、オリジナルのタイムリーな記事を増やすことにより、魅力を向上させる。令和4年度の件数は例年並み。
	事業等収入	観覧料 40,729 事業収入 2,213 円	魅力ある企画展の開催に際し、来館者の増加を積極的に実施する。	観覧料 58,688 事業収入 3,711 円	○ ○	魅力ある特別展、企画展の開催や、幅広い内容の講座や演会など、来館者の増加に繋がる各種の取り組みを実施する。
	施設点検	点検を実施する	防火・防災に備え、来館者の安全を確保するため、点検を実施する。	点検を実施した		引き続き、来館者の視点での点検を実施し、安全、安心を確保する。
施設運営等	自己研鑽及び他館の研究					

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。